



バンコクの姉妹校とのオンライン交流

愛知県立津島高等学校
3年生 国際理解コース

令和5年(2023年)6月21日(水)

姉妹校ワットスッターラム高校(MSR)とオンライン交流をしました

6月21日(水)、本校3年生国際理解コースの生徒が、バンコクの姉妹校とオンライン交流をしました。本校の当該コースからは6名、姉妹校からは3年生10名ほどが参加。今回の交流ではタブレットを約1時間使用するため、各自のタブレットを家庭でフル充電して臨むよう指示を出しておきました。久しぶりの交流であることを考慮し、本校が3月中旬に実施したバンコク研修での画像を最初に共有することで雰囲気や和やかになり、そのあと次の3つのトピックについて英語で話しました。

1 学校生活

2 自分が自慢できること

3 将来就きたい職業

1では、お互いの学校の英語学習の取組、球技大会の種目、部活動について紹介し合い、2では、本校から自分が描いたイラストや、早口言葉(「バスガス爆発」20連発)を披露すると、姉妹校から流暢な中国語や韓国語で話してくれるなどさらにグローバルになり、3では、本校生徒が美容師になって顧客のさらなる自己表現の手助けをしたいと力強く話しました。両校で特徴的だったのは、国境なき医師団をはじめとするNGOなど、自らの活躍の舞台を世界に求めていることでした。生徒たちは、頭の中で何となく考えるのではなく、具体的なプランを立てつつ表明したのです。それも、自分の母国語ではない言語で。

「まだ話し足りない」、「きょうは昼間の時間が長いはずなのに、短く感じるのはなぜ?」という言葉にならぬ声が胸で繰り返されるなか、今回の交流が終わりました。生徒はまた普段の学校生活に戻り、次の機会に向けて新たな自分磨きが始まりました。いつの時代もどの季節も、学校は自分を充電する場なのです。

